

宮城県看護連盟

平成29年 9月20日発行

第74号

発行者

宮城県看護連盟

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-8-303

TEL:022-293-1720

FAX:022-293-1727

発行責任者：富田きよ子

RENMEIみやぎ



紅葉の蔵王エコーライン

目次

会長あいさつ・ごあいさつ	2~5P
第4回 北海道・東北ブロックポリナビin山形に参加して	5P
日本看護連盟通常総会開かれる	6~7P
全国看護連盟青年部会議に参加して	7P
宮城県看護連盟通常総会開催	8~9P
宮城県看護連盟交流会	10~11P
会員研修(1)「病院にアートがあるということ！～臨床美術の取り組み～」	12~14P
研修会のご案内	14P
平成29年度 北海道・東北ブロック看護管理者看護教育等政策セミナー	15P
会員募集	16P



あいさつ

宮城県看護連盟会長 富田 きよ子

会員の皆様には、日頃より宮城県看護連盟活動に際し、温かいご支援、ご協力頂きまして心からお礼申し上げます。

宮城県内は36日間続いた長雨がやっと晴れ仙台は最高気温32.5℃まで気温が上昇しました。久しぶりの夏の日差しをいっぱいあびた草や木々、そして私達もほんの少しの夏を満喫しました。

7月1日に宮城県看護連盟総会を仙台ガーデンパレスで開催致しました。

出席者111名、委任状1,430名の参加で議事が進められ、提出された議案はすべて可決されました。退任された幹事神林様、監事岸野様、各病院の交代した支部長・幹事長の皆様大変ご苦労様でした。ご協力頂きましてありがとうございました。

佃宮城県看護協会長、愛知治郎宮城県連会長、土井亨衆議院議員、秋葉賢也衆議院議員、勝沼しげあき衆議院議員、相沢光哉議員外14名の県議会議員、わたなべ拓市議会議員の皆様がご出席され、お祝の言葉を頂きました。毎年議員の先生方に多数ご参加頂き、総会を盛り上げていただいております、心より感謝申し上げます。

総会の後に行われました交流会には、91名の参加者がそれぞれのグループに分かれ、昨年10月に厚生労働委員会で質問している、たかがい議員のDVDをみて、看護師の働き方改革について討議し、日頃感じていることをまとめて発表しました。私事(わたくしごと)として問題意識をもち解決のための努力をしていきましょう。

日本看護連盟通常総会においては、組織内候補予定者として、石田昌宏参議院議員を決定しました。現在全国を訪問し、現場の声を聞き国政に届けたいと頑張っております。石田参議院議員を応援する為に、「石田まさひろを応援する会」を設置し、会長に公益財団法人日本訪問看護財団の理事長である清水嘉与子氏が決定し、副会長に日本看護協会、勝又浜子常任理事が就任されました。

今までにない画期的な人事で、将来に明るい希望が見えてきたように思います。看護連盟と看護協会が一緒になって石田議員の応援に頑張りましょう。

会員研修「病院にアートがあるということ！～臨床美術の取り組み～」を東北福祉大学の青木一則先生にご講演頂きました。100名近い方の参加と講義の内容がとても楽しく、笑顔で聞いていました。感想も多くの方から寄せられ、青木先生にお届け致しました。出席した会員は、積極的に絵を描く事にも参加され会場内が盛り上がった研修会でした。

後半も次々と研修会があります。宮城県看護連盟の活動に一人でも多くの方々に参加して頂き、共に歩いていきたいと考えています。

地域温暖化に伴う異常気象で天候不順です。どうぞ皆様御身体をご自愛下さいますように。



夜勤手当の要望書を土井議員にお願いしました



看護を支援する勝沼議員に講演していただきました



ごあいさつ

日本看護連盟会長 草間 朋子

全国的に、猛暑が続く毎日です。セルフケアに心がけ、猛暑を乗り切ってまいりましょう。

さて、去る 6 月 15 日の日本看護連盟の総会におきまして、第 25 回参議院選の組織内候補予定者として、石田まさひろ現参議院議員を満場一致で決定させていただきました。看護政策の実現に向けて石田議員の活動をしっかり支援していくために、清水嘉与子顧問を会長にお願いし「石田まさひろを応援する会」を設置いたしました。

2025 年を目前に控え、「予防し・治し・支える医療」を中心となって担っていくのは、看護職です。看護職が、患者さんたちの信頼を得つつ、明るく、楽しく役割を果たしていくためには、看護界が一丸となって、就労環境の改善等の山積する課題を解決していかなければなりません。これらの課題を看護政策として実現していくために、私たち連盟は、国会議員の先生方をしっかり応援し、国会議員の先生方にはしっかり活動していただきましょう。



ごあいさつ

参議院議員 たかがい 恵美子

孟秋のみぎり、宮城県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

平素より、国民福祉の向上と看護政策の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で、当選来一貫して社会保障制度改革の重要な任にあたらせていただくとともに、一昨年秋より女性局長を務めさせていただいております。先の参院選を経て、党所属女性国会議員数は 43 名となり、地方議会においても女性議員数が 493 名となりました。女性版ふるさと対話集会の創設と全国展開、政治女子を育てる党政治塾「プレミアム・ウィメンズクラブ」の創設・開講、女性の健康の包括的支援に関する法案成立への取り組み、女性医療職エンパワメント推進議連の創設と、着実に政策提言を進めています。

これからも皆様と呼吸を合わせ、丁寧な仕事を心がけて参りますので、引き続き、よろしく願いいたします。



東北公済病院訪問(熊谷看護部長と共に)



臨時合同会議(村井県知事・たかがい 恵美子議員)



ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

宮城県看護連盟の皆さま、いつもご支援をありがとうございます。

多くの議論を重ねた第193回通常国会が閉会しました。

今国会では看護職を取り巻く諸課題、特に育児や介護等による夜勤の担い手不足や膨らみ続ける臨床での記録について積極的に取り組みました。それらの取り組みが実を結ぶには時間を要するかもしれませんが、千里の道は一歩からの精神で一つ一つの課題に対し、引き続き丁寧に取り組んでまいります。

一方党内では副幹事長を務めあげ、選挙対策や党勢拡大に奔走いたしました。閉会した今は選挙区の岡山に戻り多くの皆さまとふれあう中で地元の声を聞かせていただき、地方創生のため、中山間地域のさまざまな課題、政策に全力で取り組む日々を送っています。

これからも皆さまからの現場の声をお聞かせいただきながら、国政に看護職の願いを届け、快適に働くことができる環境づくりのため頑張っておりますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

参議院議員 石田 昌宏

宮城県看護連盟の皆さま、日頃よりお力添えを賜りありがとうございます。

先般開催されました日本看護連盟通常総会において、組織内候補予定者としての決定をいただきました。看護政策推進の使命をいただいたものと、身の引き締まる思いであります。

皆さまのお力で、参議院議員の重責をいただいてから四年が経過し、看護師免許保持者の届出制の新設、認知症ケア加算の新設、民間看護職紹介会社の適正化など、看護の現場をよりよくするための活動を積み上げてまいりました。

これからも、職場環境の改善、基礎教育と卒後教育の連続的充実、看護の社会的地位の向上など力強く推進し、全ての看護職が「今日もよい看護ができてよかった!」と実感できるよう全力を尽くします。

まずは、全国津々浦々を訪問させていただき、現場の声を国政に届けてまいります。皆さまの職場に参りました折は、ぜひお声をお聞かせください。



宮城県看護協会訪問



青年部委員と一緒に(山形にて)



ごあいさつ

衆議院議員 木村 やよい

宮城県看護連盟の皆さま、こんにちは。

6月18日、150日間に及ぶ第193通常国会が閉会。また、8月3日には第3次安倍第3次改造内閣が発足しました。

初当選から2年半、看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりました。特別養子縁組のあっせんに関する法案では、議員立法作成・成立の過程を勉強させていただき、障がい者総合支援法の改正では、医療的ケア児に対する教育・医療・福祉の連携した支援体制の構築に力を注ぎました。

昨年3月には待機児童問題等対策特命チームの座長に就任。ここまで来られたのも、看護職の皆さまのご指導があってこそです。これからも現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映し、光の当たらずともあたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。

最後になりましたが、京都三区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。

第4回 北海道・東北ブロックポリナビin山形に参加して

平成29年7月7日(ホテルメトロポリタン山形)

宮城県看護連盟青年部委員長 富樫 慎太郎



はじめに、北海道東北ブロック青年部の仲間連との時間に感謝し、山形県看護連盟青年部へお礼申し上げます。第4回ブロックポリナビを通して3つのこと【夢を叶える最大の力は、自分の壁を突き抜けること】、【認知症ケア加算成立のプロセス】、【GWの火付け役をデザインすることがGWを活発化させること】を学んだので、感想として報告する。

まず、【夢を叶える最大の力は、自分の壁を突き抜けること】は加藤健一氏の講演の一部である。加藤氏は21歳で筋ジストロフィーを患い、32歳で車椅子生活となった。現在は、多くの喪失体験やこれに伴う絶望や恐怖を自分が作った壁だと捉えて、この壁を突き抜け、ご自身が車椅子によるパラグライダー飛行へ挑戦し、山形で先駆的かつ挑戦的な観光プログラムを提供している。講演中の動画の1つに、車椅子パラグライダー着陸直後に抱きしめ合う家族の姿があり、壁を突き抜けた先にどんな景色があるかを示された。知らずに作っていた自分の壁を突き抜け、未知の景色を見る努力をしたいと、私は強く思った。

次に、【認知症ケア加算成立のプロセス】は石田昌宏参議院議員の講演の一部である。「2000を超える施設を訪問して、発見した取り組みだった。この認知症を有する患者さんとの関わりを大切にしたい取り組みを、厚生労働省の求めに応じて、調査検討し、日本で初めて看護ケアに診療報酬点数が認められた加算となった。」これまでの講演の中でも、身近に感じる認知症ケア加算成立のプロセスは、「ベッドサイドから看護を変える」を学びや

すい一例であった。蛇足だが、意外にも「人生で一番の失敗は東大合格だった。だから、東大時代は応援団へ挑戦した。」と話していた。石田議員は挑戦の人生だ。身近に感じた石田議員が遠ざかったように感じたが、その挑戦する背中を追って、青年部を盛り上げたい。

最後に【グループワーク(以下:GW)の火付け役をデザインすることがGWを活発化させる】は実行委員として学んだことである。今回のGWを振り返ると、自己紹介の後に、司会指名を参加者が目配せやジェスチャーで行うという仕掛けがあり、司会決定後から盛り上がり、終盤は語りきれないグループもあった。「日本看護連盟青年部集会でのGWから取り入れた」ようで、GWの火付け役になっていたように思う。他の研修に参加した際に、座学中に隣席の方と情報交換したり他己紹介したりする「アイスブレイク」という取り組みを経験して、参加者同士の関係づくりを実感したことがある。GWを活発化させ、参加者が自施設を超えた仲間を感じるGWをデザインするために、私達も導入したい取り組みである。



日本看護連盟通常総会

日本看護連盟通常総会に参加して

東北公済病院 高橋 ひとみ



通常総会には全国から2,000人以上の参加のもと、「力強い組織としての連盟を!!」と草間会長から冒頭あいさつがありました。「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンとして、看護に関する課題は自分たちで解決していかなければならず、自らの手・力で看護政策を実現していく気概を持つための「力強い組織の創生」が重点方針の1つとして挙げられました。また会員数の増員や活動計画案・予算案など6議案が全て可決されました。国民の健康を守るために、看護職がプライドを持って働くために看護政策の実現は必要不可欠であると再認識することができました。最後に、石田まさひろ参議院議員を第25回参議院議員選挙の組織内候補予定者に決定し会場拍手喝采にて閉会となりました。



平成29年度スローガン
**ベッドサイドから
 政治を変える!**
 ~看護政策実現に向けて、
 自ら活動する力強い
 組織をつくる~



開かれる

平成29年6月15日(東京プリンスホテル)

日本看護連盟通常総会に参加して

仙台北地区支部 古内 みよ子



梅雨入りしたばかりの6月15日の東京の空は快晴でした。今年度の日本看護連盟通常総会は、東京プリンスホテルで2,000人以上の出席者のもと開催されました。冒頭の草間会長のあいさつで、厚労省が提言している新たな医療の在り方を踏まえた他職種間で、タスクシフティング(業務の移管)、タスクシェアリング(業務の共有)をすすめる上で、看護教育の充実・就労環境を改善するために制度化・法制化することの重要性を話されていたと思います。この課題を政策的に解決していくために、数の力と機能する仕組みを持つ「力強い組織」が連盟に必要であると語っていたのが印象的でした。私たち会員が連盟の活動をアピールして仲間を増やし、国政の場にいる国会議員を得票で応援すること、そして看護の現場の声をもっと出して就労環境を改善・整備してもらうことが大事だと感じました。いつもなら連盟の総会にはにぎやか、華やかなイメージがありましたが、今回は落ち着いた中にも闘志を感じられる総会であったと思います。

全国看護連盟青年部会議に参加して

エコ療育園 加藤 智治

6月15日、日本看護連盟総会の前に東京プリンスホテル11階高砂の間で全国看護連盟青年部会議に参加しました。参加人数は230名でびっくりしました、狭い部屋で隣りの方と擦れる感じでした。会議の内容は、①日本看護連盟幹事青年部枠について、②今後の青年部について、③現在の中央役員会の状況についてでした。学習会、グループワークで、印象に残ったのが長野県の青年部活動でキャンプしながらポリナビを行ったり(ポリナビとは、「politic navigators networkの略です。) The勤務表バトル、模擬投票(小道具使用)の実施や香川県青年部で瀬戸内芸術祭に参加しながら看護活



動を行い非会員への研修強化や若い世代にむけてのイベント企画をしていることに感動しました。宮城県看護連盟青年部としましては今年の10月29日に仙台ポリナビ2017がありますので若い看護師に政治について興味を持ってもらえるような企画をしていきたいと思いました。青年部委員として、これからも頑張っていきたいです。

宮城県看護連盟

平成29年7月1日

宮城県看護連盟通常総会に参加して

東北労災病院 菅原 悦子



平成29年度宮城県看護連盟通常総会は、来賓に名誉会員、佃祥子宮城県看護協会会長、国会・県議会・市議会議員の方々をお迎えし盛大に執り行われました。平成28年度の報告と、審議事項第1号議案から第6号議案まですべて承認されました。交流会は、働き方改革推進「視て・聴いて・語って・行動する」をテーマに開催されました。富田きよ子宮城県看護連盟会長のあいさつと交流会開催の経緯についての説明に続き、皆川章太郎氏のサクソフォン演奏があり、会場はたいへん和やかな雰囲気となりました。たかがい恵美子参議院議員の国会審議の様子(DVD)を参加者全員で視聴後、ランチをしながらのグループワークで、「働き方改革」が看護の現場でどのように進められてきたのか、今後の課題等についての意見交換ができ、有意義な時間を過ごすことができました。



通常総会 開催

仙台ガーデンパレス

宮城県看護連盟通常総会に参加して

東北医科薬科大学病院 相澤 綾子

平成29年7月1日(土)に行われた宮城県看護連盟通常総会に参加しました。

私たち看護職は、患者様に安全で安心な医療、看護を提供するために日々奮闘しています。看護職が「看護」にやりがいを持ち、笑顔で患者様に接し続けるためには、就労環境改善や基礎教育の充実などの課題を解決していく必要があります。総会出席後「ベッドサイドから政治を変える」ため、現場の声を国会議員に届けるパイプ役として活動していくことを強く決意しました。





宮城県看護連盟



宮城県看護連盟交流会に参加して

大泉記念病院 森 竜子

平成29年7月1日(土)仙台ガーデンパレスにて宮城県看護連盟通常総会後に開催された交流会に参加した。役員を含め約100名余りが参加する中、はじめに、皆川草太郎氏によるサクソホン演奏があり、続いて、高階恵美子参議院議員が国会の中で働き方改革推進を主張するDVD上映があった。その後、9つのテーブルに分かれ、DVDを見ての感想や働く中での問題点についての話し合いが行われ、世代や病院規模、施設の違いを超えて、様々な意見が出された。夜勤をする看護師が不足していること、WLBの推進による様々な雇用形態の導入で他の職員へのしわ寄せが発生していること、看護記録を含め記入する書類が膨大になっていることなど、看護の現場における課題が抽出された。課題解決には至らなかったが、お互いに情報を共有することで“働き方改革”を考えるきっかけになった。今回の交流会は有意義であったと感じた。

宮城県看護連盟交流会に参加して

仙台厚生病院 小松 祥子

今回の研修に参加して、国会の討論の様子をビデオ視聴し、たかがい議員が国会でどのような討論をされているのか改めて知ることが出来ました。

今までもポリナビワークショップなどに参加し、たかがい議員のお話を聞く機会は何度かありましたが、実際の国会での様子を見るのは初めてだったので、国会での具体的な話が聞け又、たかがい議員が私たち看護師のために、どのような働きかけをして下さっているのかを知る良い機会になりました。討論の内容は、男女の雇用格差などについてでした。

その後のグループワークでは、動画を視聴した感想であったり、感じたことを話合いました。グループのメンバーは看護師だけでしたが、経験年数の違いや子育て中の方、現在は介護施設で働いている方、看護学校の先生をしている方など様々でした。そのため、感想も定年の時期や各施設の子育て支援、復職のタイミングについてなど様々でした。その中でも私が印象に残ったのは、看護学校の先生のお話です。私自身、看護学校を卒業して5年しか経っていませんが、私が学生だった頃と看護学校の環境も変わっているという事を感じました。又、学校や病院の都合で実習期間が短いため、あまり臨床を経験しないまま就職し自分が思い描いていた職場と違い、辞めてしまう若い看護師の離職率が高い理由に学生時代の実習経験不足も関係あるのではないかと感じました。他にもたくさんのお話を聞くことができ、勤務形態や金銭面など看護師として働き始めてからの問題に、目が行きがちですが、今後は看護学生が学ぶ環境の改善についても行ってもらえるような働きかけが必要なのではないかと感じました。

今回の研修ではたくさんのお話を聞くことができ、とても充実した研修でした。今後も積極的に参加していきたいです。



交流会

平成29年7月1日

仙台ガーデンパレス



グループワーク

平成28年10月25日厚生労働委員会での、たかがい議員のご発言をDVDで見ました。

議員のevidencelに基づいた発言・毅然としたその姿勢に、様々な環境を整えて看護を良くしていきたいという議員の願いや思いが私達の胸に届きました。

素晴らしい国会議員を国政に送り出して、私達は幸せです。

たかがい議員いつもありがとうございます。今後も応援しております。

看護師不足

- 看護師不足で毎日募集しているが、集まらない
- 夜勤する人が少ない
- 残業が増える
- 夜勤が多くなる
- 看護職員の増加
- 30~40歳の人材に様々な負担が掛かっている
- 夜勤手当をもっと増やして欲しい(現状では少ない)
- 有休休暇取得に職員間のバラツキがある
- 学童保育の時間の延長
- 外来では、忙しすぎて患者にきちんと説明出来ない。患者さんが安心して、自宅療養が続けられるよう人員を増やして欲しい
- 介護休暇・看護休暇を取りやすくして欲しい
- 福祉施設で働いているが、給料が安すぎる

子育てをしながら仕事が出来るよう環境整備をして欲しい

若い人が働き続けられる為には、職場の温かい雰囲気が必要(話しやすい・ありがとうの感謝)

子育て

- 子の病気時は保育園には預けられない。職場を休むとスタッフに迷惑をかける
- 日勤は21時、22時に帰る
- 切迫流産が多い
- 残業をしないで、退庁時間通りに帰りたい
- 仕事を辞めたいと思う
- 子育てを充実させたい
- 職場に保育所があっても18時迄なので延長して欲しい。二重保育にならざるを得ない
- 子供(小学生)の学校行事に参加したい
- 保育所からの感染が多い
- 働きながら子育て出来る組織風土の醸成

病児保育をして欲しい

残業をしない良い職場にして欲しい

看護師の退職理由

- 出産・育児・介護・キャリアアップ・病気など、実態を把握して欲しい
- 親の介護で胸をはって休めない
- 介護休暇は、取りにくい現状である
- ママさんナースに配慮すると、それ以外のナースの負担が大きい
- 病休時の給料確保
- 病休後の支援の確保

業務内容の改善・看護記録を少なくする
種々の文書作成を少なくする

私達の声を何度も国政に届けて、働きやすい職場にしましょう

看護学生の実習指導

- 学生は指導者が付いていないと何も出来ない
- 学生は教師に帰ってほしくないと思っているが教師は実習場の掛け持ちで一緒にはいられない
- 実習指導に手がかかる
- 学生はなにも出来ない
- プライバシー保護の点から患者さんへの許可を取るのが難しい

例えば学校所属の実習指導者を病棟に配置して欲しい。又は、病棟スタッフとは別に実習指導者を配置して欲しい

定年後(60歳)の雇用について

- 定年後も働きたいが、年金をもらいながら働くとなると年金はカットされ、小遣い程度しか働けない
- 再雇用となり給料が下がる

60歳以後の雇用促進をする為には、働き方の工夫(週4日働く)(日勤のみとする)など病院全体としての取り組みをして欲しい

会員研修(1)

平成29年7月29日
仙台ガーデンパレス

「病院にアートがあるという



みやぎ北部循環器科 齋藤 澄子

今回の講演では『臨床美術』を子どもや認知症を患う高齢者を対象に展開している取り組みについて学ぶことができました。

その中で「アートを楽しむためには、知識や能力はそれほど必要ではない。但し見るだけよりやる方がおもしろい。」という言葉が印象的でした。

あるアンケートによると日本人の美術に関するイメージは7割が“見るのは好き”そして7割が“描くのは嫌い”とのこと。私もその一人でしたが、講演の中で実際ポストカードに指示された通り色鉛筆で抽象的な線や点を描いていくうち、いつの間にか苦手意識は薄らいでいきました。出来上がりは十人十色ですが、自己を表現する創作活動は患者さんにとっても様々な可能性を広げていくのだと感じました。



仙台厚生病院 三塚 さつき

「臨床美術」という言葉を聞いた時、どんなものだろう、なんだか難しそうだな、というのが最初の印象だった。普段、「美術」と言われるものに関わる機会がほとんどなく、「美術」とは知識と才能のある人がやるものというイメージが非常に強かった。また、「美術」と呼ばれるような絵は難しいものが多く、特に興味を持ったことが無かった。7割の人が「美術」をどう楽しんでいいのかわからないと聞き、まさしく

自分もその通りだと思った。

しかし、今回の研修に参加してあらゆる人が楽しめる、そんなに難しいものではないのだな、と感じた。特に、認知症の高齢者が同じテーマに対して一人一人が全く違ったものを描いたり、これまで描くことを拒否していた方があるテーマを無心に描いたという話を聞き、入院患者でも認知症の高齢者が多くなっている現在、病院でもこのような活動を行えば楽しく入院生活を送ることができるのではないだろうかと思った。また、絵を見ることで精神状態の安定になり、認知症の進行を遅らせることにもつながるのではないかと感じた。認知症の方は日々、できなくなることへの失望を感じており、私達看護師は患者さんの思いを受容し共感しながら、尊敬に値する対象だということを意識して関わらなければいけないとあらためて感じた。

演習では、「○を描いて」「線を描いて」と同じ言葉を聞いて描いても、一人一人が描くものは違ったもので、完成した作品のイメージの違いがとてもおもしろいと思った。そして、こんなに簡単に描けるのだと思うと、美術とはとても身近なものなのだと感じる事ができた。

今回の研修を今後の患者さんとの関わりに活かしていきたいと思う。



こと! ~臨床美術の取り組み~

講師: 青木 一則氏(東北福祉大学准教授)



講演についての感想

とても楽しい研修でした。
ありがとうございました。
患者さんが絵手紙を作成して元気になるその意味が良く解りました。

宮城県立がんセンター 星 久美

「臨床美術」はほとんど聞いた事のない分野の話だったので、大変興味深く講演を聞く事が出来ました。

認知症の患者が増えている中で、アートを取り入れた周辺症状に対応していくなど、看護に今後活かしていきたいと思いました。

東北医科薬科大学病院 相澤 綾子

もっといろいろ書きたいと思いました。色を交換し好きではない色がきたと思いましたが、全体として見たときに自分自身を表現できたと感じる事が出来ました。不思議な感じです。

宮城県立精神医療センター 齋藤 弘子

美術は”感性”とっていたけど言語化し、伝え共存する大切さが分かりました。

認知症の方々に対する先生の対応は、私達が毎日行っている重症心身障害児者一人ひとりに対応する私達とのコミュニケーション技術を学生(実習生)に教えているのと同じだと思いました。

ありがとうございました。

エコ療育園 中村 恵美子

患者の為、利用者の為に美術を利用するのは聞いた事がありますが、実際今回絵を描いてみて、病院で働いている職員にも必要な事ではないかなと思いました。

職員も癒されたいです。

仙台厚生病院 小野 貴之

作品を作っている時は、集中する事ができ、とても楽しい時間でした。

気分がスッキリすることが出来ました。

ありがとうございました。

広南病院 川上 瑞生



講演についての感想

臨床美術という言葉を知りましたが、とても興味深い内容でした。

今まで抽象画は解らないと敬遠していたのですが、初めて見せて頂いたカンディンスキーの絵は引き込まれました。(私はベラスケスが好きです。)

入院の高齢の患者さんが、リハビリを兼ねて絵を描く無心の姿を思い出し、絵心は誰にもあるのだなと思いました。

本格的で魅力的でありながら「誰もが取り組める」活動。目標を高く置く点では、人を育てるmanagementの視点と同じだと思いました。

対話型鑑賞の実践編は、ぜひ自分のものになりたいと思います。やはり褒められると嬉しいものですね。

徐々に色鉛筆を持ちました。

絵を描くって楽しい。

公立黒川病院 瀧島 美紀

自分の勤務する病院にも、外来に絵画が飾ってあります。

今までは、あまり気にしたことは無かったのですが、外来診察を長い時間待っている患者さんにとっては癒しだったり、楽しみになっているのかもしれないなと思いました。今まで認知症の患者さんと関わる時に、何度言っても通じない事も多くだんだん強い口調になってしまったりする事がありました。

今回の話しを聞いて、できなくなる事への失望や様々な思いを持っていることを感じ、尊敬をもって関わる事が大事だと思いました。

「たけのこ」を見て、同じ物を見て描いても一人ひとりが全然違うもののように描かれていて、不思議だなと思いました。

興味深く聞かせて頂きました。

ありがとうございました。

仙台厚生病院 岸田 さつき

普段ゆっくり患者さんと向きあう時間がもてません。時間があってもおしゃべりくらいしかできることがありませんでした。

今度は、紙と色エンピツを持って患者さんの所へ行ってみます。このような場面でも、コーチングが活用されていることは、発見でした。

広南病院 栗村 由紀子

看護は気付く心、創造する力(想像する力)が必要であると、日々感じております。種を見て、種から成長する植物を、創造する力は、看護と同じと感じました。

又、もう一つの共通点は表現の言語化という点です。看護を言語化して、人に伝える事は、容易な事ではありませんがエビデンスを持ち、習得した技術を持って、行っている看護(ケア)は、言語化して人に伝える事で、理解されるものだと思っております。そういった意味では、美術との共通点を感じる事が出来ました。先生のおっしゃる通り絵はとても描くのが苦手で、どちらかというときけて通りたい分野ですが、見る事はとても大好きです。

絵には不思議な力があり、引き込まれるパワーを感じます。

今日は、とても楽しいお話をありがとうございました。

仙石病院 佐々木 由佳

研修会のご案内

会員研修(3)

平成30年1月20日(土)

仙台ガーデンパレス 10:00~11:30

講演：第24回参議院議員選挙総括と今後の取り組み
～宮城県・全国 得票数からの分析～

講師：河村 和徳氏 (東北大学准教授)

平成29年度 北海道・東北ブロック看護管理者看護教育等政策セミナー に参加して

東北労災看護専門学校 副校長 新田 みつ子

平成29年8月19日(土)～20日(日)の2日間、秋田にて開催されました。

北海道・東北の看護管理者、教育者等約50名が参加しました。1日目は「医療政策の動向と課題」と題して政策研究大学院大学教授島崎謙治氏による講演がありました。講演の目的は今日、地域医療構想や地域包括ケアなど医療(介護含む)政策は大きく変貌しています。そして、2018年度には国保改革の施行、次期医療計画の開始、診療報酬・介護報酬の同時改革等が結節します。こうした動向の“絵解き”を行うとともに、課題と展望について3つの内容が述べられました。1.人口構造変容の諸相とインパクト。2.医療・介護給付費の増大と制約条件。3.医療・介護政策の動向と課題でした。内容から行くと耳慣れた文言ではありますが、言葉だけが独り歩きしているのは私だけでしょうか。真剣に向き合っていなかった自分を反省しました。人口減少問題一つとっても、減少することは現実的に受け止められますが、そうなったときにいかに大変な時代が到来するかは実感があるというだけの認識にしか過ぎなかつたので受講し認識を新たにすることができました。

また、「現場の声を政策につなげるためには!」と題し、参議院議員の石田まさひろ氏の活動報告がありました。多忙な日々、現場の声をしっかり把握し国政に発信している現状に敬意を表しました。

2日目には「日本看護協会の看護政策について」日本看護協会副会長菊地令子氏による講演がありました。Ⅰ.2025年に向けての「看護の将来ビジョン」Ⅱ.「看護の将来ビジョン」実現に向けた看護政策について分かりやすく講演していただきました。看護の進むべき方向性をしっかりとらえ、看護を実践していかなければなりません。看護マネジメントの講義を担当している私としては、看護学生には今まで以上に「看護の将来ビジョン」を伝えていかなければならないことを痛感しました。看護者一人ひとりが政策に目を向け将来を見据えた看護を展開しなければならないことを強く考える機会になりました。微力ながら政治に目を向ける姿勢を忘れずに後輩の指導に努めてまいりたいと思います。





入院も、手ぶらで大丈夫。

寝巻・タオル・日用品・紙おむつ 1日定額制レンタルの
アメニティセットをご提供いたします!

✓ 入院時の
荷物準備が不要!

✓ 洗濯付きだから
手間なく清潔!

✓ 数量制限なく
夜間も安心!



株式会社アメニティ

0120-918-859

東京都千代田区神田駿河台2-10-4
<http://www.amenity-ss.co.jp/>
 「アメニティセット」および「アメニティサポートシステム」は
 (株)アメニティの登録商標です。




東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

Sleeping seminar

◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。

◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

研修会や勉強会、学会でのコーヒーサービスもご提供しています。

お気軽にご相談下さい！



東洋羽毛北部販売株式会社 仙台営業所

〒984-0032
仙台市若林区荒井字堀口41番1号26-67 0750号F
HP: <http://www.toyoumo.co.jp>

☎ 0120-023-337



Standard Model

冠婚葬祭や公式行事に、女性を美しくコーディネートする
クイーンパールのスタンダードモデルの本真珠セットです。



0120-004-083

仙台市太白区茂庭台4丁目3-11

www.queen-pearl.com

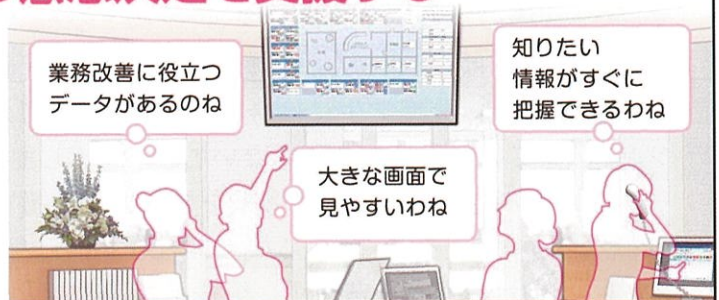
見える化で、ケアの意思決定を支援する

病棟業務支援プラットフォーム

NICSS-R8

NICSS-R8が実現する情報活用支援

ダブル
Wディスプレイ対応 4コンテンツ表示
知りたい情報が瞬時に把握できます。



ケアする される心を形に
株式会社ケアコム
<http://www.carecom.jp/>

【仙台支店】 〒981-0911 仙台市青葉区台原4-11-33 サンハイツ台原 2F
TEL.022-272-8781(代) FAX.022-272-8783

会員募集！

あなたの力が連盟活動を支えます。
職場の声を国政に反映させましょう！



- 正会員** (年会費) **8,000円** (本部会費5,000円 県会費3,000円)
- 特別会員** (年会費) **8,000円** (正会員の経験を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方)
- 賛助会員** (年会費) **2,000円** (看護連盟の趣旨に賛同していただけの方であればご入会できます)
- 学生会員** (年会費) **無 料** (看護学生で看護連盟の趣旨に賛同していただけの方)

お問い合わせ(事務局)

TEL. 022-293-1720

FAX. 022-293-1727

E-mail:renmei-miyagi@lily.ocn.ne.jp

編集後記

仙台は36日間も長雨が続き、憂鬱な日々が続きましたが、機関紙作りは楽しく行いました。

宮城県看護連盟
富田きよ子・江田 悦子